

様式第10（第16条関係）

令和 年 月 日

渋川市長 高 木 勉 あて

住 所  
（法人にあっては主たる事業所の所在地）

氏 名 印  
（法人にあっては名称及び代表者名）

令和 年度 ぐんま新技術・新製品開発推進補助金  
（市町村・県パートナーシップ支援型）に係る企業化状況の報告について  
【令和 年度 報告分】

令和 年 月 日付け渋川市商第 号（令和 年 月 日付け渋川市商第 号で変更承認）をもって交付決定通知があった上記の補助事業に関し、平成年度の企業化状況について、別紙調査票のとおり報告します。

事業実施年度	平成 年度
開発テーマ	

回答担当者	(部署・役職)
	(氏名)
電話番号	
FAX番号	

※本調査は、ぐんま新技術・新製品開発推進補助金（市町村・県パートナーシップ支援型）で取り組んだ、新製品・新商品等の開発における事業化や特許権化等の状況成果について、事業終了後2年間、報告を行うものです。

【別紙】

# 企業化状況調査票

## 1 新製品・新商品開発

(1) 本事業を利用した新製品・新商品等の開発状況について、該当する番号に■を付けてください。

製品・商品等が完成している場合

- ① 継続的に販売実績があり、利益を上げている。
- ② 継続的に販売実績があるが、利益は上げていない。
- ③ 継続的とは言えないが、販売実績はある。
- ④ 販売実績はないが、注文・契約が取れている。またはモニター利用中である。
- ⑤ 販売実績はなく、営業・宣伝等を鋭意行っている段階である。

製品・商品等が完成していない場合

- ① 近日中の製品化を目指し、開発を継続している。
- ② 開発を継続しているが、製品化にはまだ1年以上の期間が必要である。
- ③ 開発を中断又は断念している。  
理由：

## 2 本事業を利用した新製品・新商品等の販売や開発体制

(1) 新製品・新商品等の名称、販売数量、売上額及び収益額について  
(複数ある場合は、別紙等を作成してください)

新製品・新商品等の名称： \_\_\_\_\_

年 度	販売数量	売上額(円)	製品に係る必要経費(円)	収益額(円)
事業終了後1年目(H )				
〃 2年目(H )				
累 計				

※必要経費 製品に係る原材料費、外注加工費、工場経費、労務費、在庫経費、一般管理費及び販売費等の経費をいう。

(2) 新製品・新商品等に関する開発経費、課題などについて

開発経費	累計額	円 (自己資金+補助金受領額)
	うち補助金額	円 (補助金受領額)
開発の実施状況	【内容】※ 現在の開発状況又は今後の計画など	
	【課題】※ 開発にあたっての課題など	
本開発に関する設備投資額		円 (調査時点までの累計額)

3 特許権化・その他

本事業を利用した新製品・新商品等の特許権化等の状況について、該当する番号に■を付けてください。(①、②の場合、その状況を下欄に記入してください。)

- ① 特許又はその他知的所有権を取得している。
- ② 特許又はその他知的所有権を出願中である。
- ③ 特許又はその他知的所有権の出願を予定している。
- ④ 特許又はその他知的所有権の出願(取得)を予定していない。

--

※「出願年月日」「出願番号」「取得年月日」「登録番号」「名称」等を記入

4 利用満足度

本補助事業の利用満足度について、該当する番号に■を付けてください。また、その理由や補助制度等に関する意見を下欄に記入してください。

- ① 満足
- ② やや満足
- ③ やや不満
- ④ 不満

【理由・意見】
---------